

※新型コロナウイルス感染拡大状況を鑑み、シンポジウムは完全オンライン開催に変更になりました。
(2022年7月13日再送)

NEWS RELEASE



2022. 7. 6

報道関係者 各位

< 配信枚数4枚 >

文化遺産や歴史都市の防災について考える 「第16回 歴史都市防災シンポジウム」開催

地震災害や水害、火災など9つのテーマを討議

日 時 : 2022年7月24日(日) 10:30~17:20

開催方法 : ~~(対面)立命館大学衣笠キャンパス~~ (オンライン) Zoom

立命館大学歴史都市防災研究所(京都市北区・衣笠キャンパス、所長:花岡和聖)は、文化遺産や歴史都市の防災をテーマとした「第16回歴史都市防災シンポジウム」を、7月24日(日)に開催いたします。今年度は新型コロナウイルスの感染状況を鑑み、~~対面~~とオンラインを併用したハイブリッド形式で開催いたします。

歴史都市防災研究所は、文化遺産の宝庫とも言うべき京都・滋賀を拠点に、芸術と文化の保全と、それを支える環境とコミュニティを含む災害対策を一体として捉える「文化遺産防災学」の教育・研究を、文理の垣根を越えて行っています。

「歴史都市防災シンポジウム」は、同研究所の研究成果の発信と研究交流の場として、2007年以来、毎年開催しています。第16回となる今回は、佛教大学名誉教授の植村善博氏による特別講演「災害文化遺産としての日本の禹王遺跡とその意義」に続き、3つの会場に分かれ、9つの地震災害や水害を含む討議を行います。このテーマに関心をお持ちの方は、どなたでも参加できます。詳細は別紙をご参照ください。

記

日 時 : 2022年7月24日(日) 10:30~17:20

開催方法 : ~~(対面)立命館大学衣笠キャンパス~~ 敬学館
(オンライン) Zoom

内 容 : 特別講演、学術論文発表など

参加費 : 無料

申込方法 : ※7月14日(木)正午までに、事前登録が必要です。
<https://r-dmuch.jp/project/symposium/program/>よりお申し込みください。

使用言語 : 日本語(一部、英語での発表、討議あり)

主 催 : 立命館大学歴史都市防災研究所

※詳細は別紙および研究所 HP (<https://r-dmuch.jp/project/symposium/program/>) をご覧ください。

以上

本リリースの配布先: 京都大学記者クラブ、草津市政記者クラブ、大阪科学・大学記者クラブ

●内容についてのお問い合わせ

立命館大学歴史都市防災研究所 TEL:075-467-8801 担当:秋好

●ご取材についてのお問い合わせ

立命館大学広報課 TEL:075-813-8300 担当:名和

第16回歴史都市防災シンポジウム：2022年7月24日(日)

プログラム ※敬称略

時間	特別講演(A会場(敬学館 KG009))		
10:30~12:00	「災害文化遺産としての日本の禹王遺跡とその意義」 植村 善博(佛教大学 名誉教授)		
時間	A会場(KG009)	B会場(KG108)	C会場(KG208)
13:00~14:20	A1. 地震災害	B1. 火災	C1. 防災計画(1)
14:40~16:00	A2. 水害	B2. 災害リスク(1)	C2. 防災計画(2)
16:20~17:20	A3. 建築計画	B3. 災害リスク(2)	C3. データベース

【A会場】

A1. 地震災害 13:00~14:20

座長:藤本将光

1. 【論文】 輪島市黒島地区のワクノウチ建築物の耐震性能

須田達

2. 【論文】 柔床立体建物に対する合理的な連結制震装置の設計法

吉富信太、中西裕也

3. 【論文】 楔なし通し貫接合部の貫に生じるひずみ分布の画像計測

井上祥子、村本真

4. 【論文】 別府市鉄輪の空き家活用における wallstat の有効性に関する研究

木村智、坂本昇陽、平尾和洋

A2. 水害 14:40~16:00

座長:里深好文

5. 【論文】 話題カテゴリを用いた流域治水シナリオ作成ワークショップの分析 -歴史都市京都府亀岡市における保津川流域を事例として-

阿部俊彦、武田史朗、荻智隆、山口敬太、中島秀明、花岡和聖、大野智彦

6. 【論文】 グリーン・ブルースポットを用いた流域全体での洪水調節機能評価 -京都府亀岡市の支流流域をケースとした試行的解析-

焦英楠、武田史朗、花岡和聖、中島秀明、章俊華

A3. 建築計画 16:20~17:20

座長:阿部俊彦

7. 【論文】 近世・近代の土蔵の外観と構法

吉川奎、青柳憲昌

8. 【論文】 深層学習を用いた伝統的建造物群保存地区の街路画像の分類

越智広樹、山田悟史

9. 【報告】 江戸時代後期と現代における周辺街路からの彦根城の可視性の定量的把握と比較分析
—歴史的景観保全と復興事前準備に向けた基礎的研究—

藤井健史、岩村晃志

【B 会場】

- B1. 火災 13:00～14:20

座長:持田泰秀

10. 【論文】 1946年南海地震における新宮市の火災延焼動態

辻原治、尾崎嘉紀、角希美

11. 【論文】 出石伝統的建造物群保存地区における建築物の延焼脆弱性の定量化と二方向避難・放水範囲拡大のための対策提案

平尾和洋、田邊勇樹、大場修

- B2. 災害リスク(1) 14:40～16:00

座長:青柳憲昌

12. 【論文】 出石伝統的建造物群保存地区における町家の平面・意匠分析および延焼防止力向上を加味した修理修景基準改定への提案

大場修、平尾和洋、中村魁

13. 【報告】 まちなかコモンズ整備事業を活用した密集市街地の防災整備に関する研究

廣山達哉、大窪健之、金度源

14. 【報告】 津山市重要伝統的建造物群保存地区における水害リスクに関する研究

喜多孝輔、酒井智弘、岡井有佳、馬場美智子

- B3. 災害リスク(2) 16:20～17:20

座長:大窪健之

15. 【論文】 静岡県の指定文化財(建築)の災害危険性

山田耕司、松浦穂乃果

16. 【報告】 Earthquake Hazard Preparedness Index (EHPI) Mapping a Solution to Tackle Earthquake Disasters

Afroz Ahmad Shah、Navakanesh M Batmanathan、Joy Jacqueline Pereira

17. 【論文】 特定電気事業による大規模停電への備えから考察する京都市のBCPに関する研究

福本真史、本間睦朗

【C 会場】

- C1. 防災計画(1) 13:00～14:20

座長:村中亮夫

18. 【報告】 歴史的な地区の防災活動状況や住民の防災意識に関する研究 —奈良県五條市五條新町重伝建地区を対象として—

金度源、倉本紗季、大窪健之

19. 【論文】 訪日中国人観光客の避難行動意思決定に関する研究

楊曼尊、豊田祐輔

20. 【論文】 歴史地区における豪雨災害に備えた避難所機能のニーズ評価 —マーケティング手法を用いた整備項目の評価と提案—

大窪健之、福永靖史、金度源

C2. 防災計画(2) 14:40～16:00

座長:山田悟史

21. 【報告】 ネパールにおける伝統的施設および教育施設の防災拠点としての活用可能性 –ゴルカ地震を経験したパタン地区での実例を対象として–
里中涼華、大窪健之、サキヤラタ、金度源
22. 【論文】 2016年熊本地震における災害ボランティアの災害応急対策の時系列分析
留野僚也、豊田祐輔、鐘ヶ江秀彦
23. 【論文】 ベイジアンネットワークを用いた路上犯罪発生箇所の特徴に関する研究
山崎良祐、宗本晋作

C3. データベース 16:20～17:20

座長:金度源

24. 【論文】 時空間的要因を考慮したNPO法人の事業目的の分析に基づく文化遺産防災に関する考察 –都市縮小期を迎えた京都市を事例として–
大橋弘明、留野僚也、豊田祐輔、鐘ヶ江秀彦
25. 【報告】 文化財防災研究や歴史災害研究への発掘調査データベースの活用
武内樹治、矢野桂司
26. 【論文】 災害の時間的フェーズを考慮した歴史都市防災に関する研究内容の傾向分析
小川圭一、宇佐美智子